

令和4年度 公立鳥取環境大学  
一般選抜後期日程 試験問題

小 論 文  
(環境学部 90分)

(注意事項)

1. 試験開始の指示があるまで問題を開けてはいけません。
2. 問題冊子は3ページ、解答用紙は2枚です。
3. 解答用紙の所定欄に氏名、受験番号を記入しなさい。
4. 解答用紙は横書きです。
5. 試験終了後、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰りなさい。

以下の文章は「モラルを生んだ生存競争 (M. トマセロ著, 別冊日経サイエンス No. 242 (人間らしさの起源 社会性, 知性, 技術の進化史), 2020)」の前半部を抜粋したもので, 初期人類におけるモラルの形成過程について論じたものである。これをよく読んで, 設問(1)～(3)に答えよ。

適者生存が進化であるなら, 人はいったいどのようにして道徳をわきまえた生物になったのか? 各個体が自らの適応度を最大化するのが進化であるなら, 他者を助け他者に対して公正であるべきだと人が感じるようになったのはなぜなのか?

これらの疑問に対する昔からの答えは2つある。まず, 遺伝子を共有する血縁者を助けるのはその遺伝子を広めることにつながり, 「包括適応度」を高める点で意味がある。第2に, 「互いに背中のかゆいところを掻き合えばどちらもハッピー」という互恵的な状況がありうる。

だがモラル(徳性)とは, ミツバチやアリが包括適応度を高める行動で協力するような形で血縁者に親切にすることだけではない。また, 互恵の相互依存はリスクを伴う。片方が利益を得たところで, お返しをせずに相手を見捨てることが起こりうるからだ。さらに, これら在来の答えはいずれも, 人間のモラルの本質と思われるものを説明できない。人間が互いに感じている恩義の感覚だ。

近年, モラルの問題をとらえる新たなアプローチが台頭してきた。カギとなるのは, 生存と幸福のために全員が相互依存している社会集団で暮らす人々が, ある特定の論理に基づいて行動している, という認識だ。この「相互依存の論理」では, 私はあなたに依存しているのだから, あなたを幸せにすることは私の利益でもあることになる。より一般的に言えば, 全員が相互依存の関係にある場合, 全員が互いの面倒を見なければならない。

この状況はどのように生じたのだろうか? その答えは, ①人間にそれまで以上に協力的な生き方を強いた特定の状況と関係がある。特に食料などの基本的な資源を手に入れる際に, 協力的な生き方が必要になった。

#### 【協働の役割】

人間に最も近い類人猿であるチンパンジーとボノボは, 小さな集団で果物などを探すが, 食物が見つかったと各個体が先を争って自分のために食物を獲得する。何らかの衝突が生じた場合には優位性によって解決され, 最も強いものが勝つ。

類人猿で協働的な採食行動に最も近いのは, 数頭のオスのチンパンジーが1匹のサルを囲んで捕まえる行為だろう。だがこの狩猟法は, 人間が行っている協働的な形の採食行動よりも, ライオンやオオカミの狩りに似ている。各チンパンジーはサルの逃げ道の1つをふさぐことで, その状況における自分のチャンスを最大化している。サルを捕まえた個体は獲物を自分だけで全部食べようとするが, 通常は不可能だ。その場にいたすべての個体が獲物に群がって横取りを始める。横取りを防ぐには相手と戦う必要があるが, 乱闘の間に食物を失う可能性が大きい。結果的に, 食物の少量が共有される。

人類はずっと昔からこれとは違う方法を取ってきた。約200万年前, より大きな脳と石器作製の新技术を持つホモ属が出現した。その後間もなく, 地球の寒冷化と乾燥化によって地上性のサルが増え, ホモ属と多くの資源を争うようになった。

そこで初期人類には新たな道が必要になった。1つの道は, 他の動物が仕留めた獲物の死

体をあさることだ。だが、アリゾナ大学の人類学者スティナー (Mary C. Stiner)によると、その後、一部の初期人類（おそらくは約 40 万年前のホモ・ハイデルベルゲンシス）が、狩猟採集で共同の目標を設けて力を合わせる積極的な協働作業によって食物の大半を得るようになった。実際、協働は人々の生存に不可欠な義務となった。日々の糧を得るために、各自は否応なしに相互依存するようになった。

この義務的な協働採食行動で重要となったのが、中間の選択だった。認知力などの不足で協働できない人（共同の目標を設定できない人や他者とうまく意思疎通できない人）は狩猟採集の仲間選ばれず、食いはぐれた。同様に、社会的・道徳的な協調性を欠いた者、例えば成果を独り占めしようとする人も、仲間選ばれずに破滅した。つまり、他者とうまく協力できる有能でやる気のある個体に対して、強い社会選択が生じた。

モラルの進化をもたらしたカギは、協働採食行動の仲間選びで社会的に選択された初期人類の個体が、他者と関わる新たな方法を編み出したことにある。最も重要なことに、彼らは力を合わせて共同目標を達成することと、現在の仲間や将来仲間になりそうな人に共感して手助けすることの両方について、強い動機を持っていた。食物獲得の成功を仲間に依存している場合、必要に応じ相手を助けて将来の狩りに万全の態勢で備えておくことは、進化的にも理にかなう。

さらに、自分が生き残れるかどうかは、他のメンバーから有能でやる気のある協働相手と見なされるかどうかにかかってくる。このため人は自分が他者にどう評価されているかを気にするようになった。私たちの研究室の実験によると、幼児でさえ他者による評価を気にしている。これに対しチンパンジーは気にしていないようだ。

歴史的な記録がないうえ、多くの場合は化石や考古学的遺物などの証拠もないため、私たちや他の研究チームは、いずれ文化的規範を身につけることになる幼児の行動を近縁の霊長類の行動と比較することで、人間の思考とモラルの起源を探ってきた。

私たちはそうした研究から、協働採食行動をしていた初期人類が新たに協力的な考え方を発達させ、これが他者を等しく仲間に値する存在として扱うことにつながったのだと考えている。つまり、単に共感するだけでなく、公正の感覚（自分と他者が同等であるという理解に基づく）が生まれた。狩猟採集仲間は、その協働作業において基本的にはどの役割を担ってもよいこと、そして全体の成功のためには力を合わせる必要があることを理解していた。さらに、2人が何度も採食行動で協働するうちに、目標達成のために各自がどんな役割を担うのが最善かを規定する共通の理解が発達した。一種の精神的な“共通基盤”だ。

そうした役割特異的な基準によって、各メンバーに期待される行動が決まった。レイヨウ（アンテロープ）を狩る場合なら、追跡者はXを、槍で突く者はYをしなければならない、というように。これらの理想化された基準は、共同目標の達成を確実にするために各自が「適切に」果たさねばならない役割を公正に定めた。各役割の成果を評価する公正な基準がメンバーで共有され、それらの役割はメンバー間で実際に交代可能となった。こうして、狩りに参加した仲間は、ズルをする者や手を貸さなかったフリーライダーとは異なり、それぞれ同等の分け前に値する存在になった。

初期人類は協働作業の相棒を選ぶにあたり、期待された役割を果たし獲物を公正に分ける人を望んだ。連携を組もうとする人々は仲間選びに伴うリスクを減らすため、新たに編み出した協力のワザを用いて、各自が期待された役割を果たすことを誓うとともに成果を公

正に分けることを定めた規約を作っただろう。その一部として、約束に背いた者は非難に値することが暗黙のうちに定まっただろう。

期待に応えられなかったが良好な協力関係を保ちたい者は、自責の念にかられただろう。罪の意識が心理的に内在化した。こうして「私」よりも「私たち」が重要」とするモラルが出現した。協働作業の間は、1つに結びついた“私たち”が利己的な個人のレベルを超えて機能し、協働の仲間である“あなた”と“私”の行動を規制する。

初期人類が義務的な協働採食行動に適応したことによるこの結果が、「②二人称的モラル」と呼ばれるものになった。二人称的モラルとは、「協働作業における同等の仲間として自分と他者の両方を誠実に評価することに基づいて、尊敬の念と公正さをもって他者と関わろうとする傾向」と定義される。

この公正の意識は、恩義の感覚と協力を求める社会的圧力、仲間に対する尊敬によってさらに強まった。つまり、霊長類はみな、うまくいくと思える方法で各自の目標を追求する圧力に動かされているのに対し、初期人類の社会的生活を支配した相互依存性は、他者を正当に扱う必要性を感じさせると同時に、自分も他者から正当に扱われることを期待する状況を生んだ。この二人称的モラルが現生人類のモラルの決定的特性のすべてではないが、相互の尊重と公正さという最も重要な要素は原始的な形ですでに存在していた。

問1：下線部①の「人間にそれまで以上に協力的な生き方を強いた特定の状況」とは、どのような状況か、説明しなさい。(200文字以内)

問2：類人猿の協働採食行動と、初期人類の協働採食行動では獲物（食料）の配分に関して違いがあると著者は述べているが、この違いについて、「公正」という言葉を用い、簡潔に説明しなさい。(200文字以内)

問3：著者は、「二人称的モラル（下線部②）」が初期人類における生存競争の過程で生じたと述べている。この「二人称的モラル」の存在は、現生人類である我々全体の生存、すなわち「持続可能社会の実現」のためにも重要な要素と考えられる。ここで、現代社会における持続可能社会の実現を阻害するいくつかの問題（環境、社会、経済、紛争、資源、人権等）のうち、「二人称的モラル」の欠如によるものと考えられる具体例を1つ挙げ、その原因について説明しなさい。加えて、その解決策についてのあなたの考えも述べなさい。(400字以内)